

2022 年度新任役員候補者一覧

任期は 2024 年度 2 月開催の定時社員総会終結時まで

理事

高橋 桂子 (早稲田大学)

東京工業大学総合理工学研究科システム科学専攻博士後期課程修了、工学博士。花王株式会社文理学研究所、英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所、国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター長、経営管理審議役、横浜研究所長を経て、2021 年 4 月より早稲田大学総合研究機構グローバル科学知融合研究所上級研究員・研究院教授、現在に至る。

日本学術会議会員 (第 23 期、第 24 期第 3 部幹事)、日本学術会議連携会員 (第 20 期～第 22 期、第 25 期)、文部科学省 科学技術・学術審議会等 委員、計測自動制御学会 (元理事)、日本応用数理学会 (元理事)、日本流体力学会 (元理事)、可視化情報学会 (元会長、元理事)、日本地球惑星科学連合 (JpGU) 前ユニオンサイエンスボードメンバー、科学社会学会 (監事)、International Federation of Automatic Control (IFAC) The Technical Board member、Asian Network on Climate Science and Technology (ANCST) International Steering Committee member、アメリカ国立科学財団 (NSF) Electronic Proposal Review 元委員など。

山下 善之 (東京農工大学)

1982 年 3 月東北大学工学部化学工学科卒業、1987 年 3 月東北大学大学院博士課程修了 (工学博士)。1987 年 4 月東北大学助手、1992 年 12 月東北大学助教授、2007 年 4 月～東京農工大学教授。2006 年 3 月～2008 年 2 月計測自動制御学会理事、2021 年 6 月～現在自動制御協議会理事、2013 年 4 月～2015 年 3 月化学工学会理事。2016 年 6 月～現在日本学術振興会プロセスシステム工学第 143 委員会委員長、2011 年度～2020 年度計装制御技術会議企画委員長、日本学術会議 IFAC 分科会自動制御の他分野応用小委員会委員、化学工学会 AI・IoT 委員会委員長、PSE 2021+ Symposium, General Chair。

菱山 玲子 (早稲田大学)

2005 年京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻博士後期課程修了。京都大学博士 (情報学)。1988 年三井銀行 (現 三井住友銀行) 入行。1991 年日本テレコム株式会社 (現 ソフトバンク株式会社) 入社、2005 年京都女子大学現代社会学部現代社会学科助教授、2007 年早稲田大学理工学術院創設理工学部経営システム工学科准教授、2012 年同教授。

専門は計算機科学、人工知能、社会情報学、経営情報学。計測自動制御学会、電子情報通信学会、情報処理学会、経営情報学会、人工知能学会、日本シミュレーション&ゲーミング学会、IEEE、ACM 会員。公益財団法人科学技術融合振興財団評議員、ソフトバンク株式会社社外取締役、旭情報サービス株式会社社外取締役。日本シミュレーション&ゲーミング学会理事。早稲田大学情報企画部副部長 (インフラ・セキュリティ担当)。

大原 賢一 (名城大学)

2008 年筑波大学大学院システム情報工学科修了、博士 (工学)。2008 年大阪大学基礎工学研究科システム創成専攻助教、2012 年同大同研究科同専攻特任助教、2013 年名城大学理工学部メカトロニクス工学科准教授、2019 年名城大学理工学部メカトロニクス工学科教授、現在に至る。

ロボット向けの中規模ウェアに関心を持ち、講習会やコンテストなどの企画の運営等を中心メンバーとして実施している。

SICE SI 部門空間知部会・RT システムインテグレーション部会 主査、SI 部門会計幹事補、会計副幹事、会計幹事を歴任。部門広報情報委員会常任委員、部門国際委員長。

SI 部門講演会プログラム副委員長、SII プログラム委員長、論文集 (和文) ゲストエディタなど。日本ロボット学会 2017 年度、2018 年度理事。

永原 正章 (北九州市立大学)

2003 年京都大学大学院情報学研究科博士課程修了、博士 (情報学)。京都大学助手、助教、講師を経て、2016 年より北九州市立大学環境技術研究所教授。専門分野は制御理論と機械学習。SICE より学術奨励賞 (1999 年)、学会賞論文賞 (2012 年)、著述賞

(2016 年および 2021 年)、制御部門木村賞 (2020 年) などを受賞。また IEEE 制御システム部門より Transition to Practice Award (2012 年) および George S. Axelby Outstanding Paper Award (2018 年) を受賞。JCMSI Associate Editor (2015 年～2020 年、2021 年～現在)、関西支部庶務幹事 (2015 年～2016 年)、九州支部事業幹事 (2019 年～2020 年)、ネットワーク上の制御と信号処理調査研究会主査 (2015 年～2016 年)、超スマート社会実現のためのシステム制御技術調査研究会主査 (2018 年～2019 年)、ポストコロナ未来社会 WG 主査 (2020 年～現在)、第 7 回 SICE 制御部門マルチシナポジウムプログラム委員長 (2020 年) などを経験。計測と制御「ポストコロナ未来社会への科学技術」特集号を企画 (2021 年 9 月号)。自動制御・人工知能の分野で多数の論文・講演・著書を発表。

高崎 正也 (埼玉大学)

弾性表面波のメカトロニクスへの応用に関する研究で学位 (博士 (工学) (東京大学)) を取得した。その後、弾性表面波を用いた皮膚感覚提示に関する研究を進展させ、透明なディスプレイ・大面積ディスプレイ等を提案した。皮膚感覚提示に適した超音波振動子の開発研究では海外の大学との共同研究へ発展している。また、触覚に関わる研究としても継続させ、近年では、触覚を通じた人の認知について調べる研究へも広がりを見せている。一方、ランジュバン型振動子による超音波振動を用いて、非接触下方支持・ポンプ等を実現できることを報告し、それらの諸特性を明らかにする研究にも従事してきた。

2006～2008 年システムインテグレーション部門相互作用と賢さ部会主査、2007～2014 年 JCMSI AE、2014～2016 年 JCMSI エディタ、2017～2020 年精密工学会理事、2017～2019 年精密工学会次世代センサアクチュエータ専門委員会委員長、2020～2021 年日本機械学会機素潤滑設計部門アクチュエータシステム技術企画委員会委員長。

高山 茂 (立命館大学)

1986 年立命館大学大学院理工学研究科博士課程前期課程修了。博士 (工学)。1987 年立命館大学理工学部助手、1996 年同学部助教授、2002 年同学部教授、2019 年より同学部長・研究科長、現在に至る。センサ・ネットワーク、流動場の動機解析、XR 応用計測などの研究に従事。

国際計測連合副会長 (世界大会開催担当)。計測自動制御学会 IMEKO 委員会委員長。IMEKO2021 企画・実行委員会委員長。Distinguished Scientist of Slovakia Science Academy。

河合 富貴子（富士電機株式会社）

2004年3月北海道大学大学院 工学研究科 修士課程修了（修士）。2004年4月富士電機株式会社入社。2018年11月オーストラリア大学 博士課程修了（博士）。

2012年3月～SICE 制御部門 社会基盤システムにおける分散意思決定のためのシステム制御調査研究会委員、2014年8月 The 19th WC of the International Federation of Automatic Control 座長、発表、2017年8月 The 20th WC of the International Federation of Automatic Control 発表、2017年9月 SICE Annual Conference 発表、2018年9月 SICE Annual Conference 発表、2019年4月～電気学会新進会員活動委員会幹事、2021年9月電気学会 C 部門大会 Student Competition Session 座長。

浅井 徹（名古屋大学）

1996年3月東京工業大学大学院理工学研究科制御工学専攻修了。同年1月日本学術振興会特別研究員。1999年3月大阪大学大学院工学研究科助手、2002年4月同研究科講師、2005年4月同研究科助教授、2007年4月同研究科准教授、2015年4月名古屋大学大学院工学研究科准教授となり、現在に至る。IEEE、システム制御情報学会、鉄鋼協会の会員。博士（工学）。

計測自動制御学会次世代制御技術調査研究会主査（2009～2010）、計測自動制御学会制御技術に関する次世代ニーズ・シーズ調査研究会主査（2011～2013）、鉄鋼協会制御フォーラム座長（2013～2015）、計測自動制御学会制御技術部会主査（2014～2015）、計測自動制御学会第2回制御部門マルチシンポジウムプログラム委員長（2014～2015）、計測自動制御学会理事（2015～2016）、計測自動制御学会中部支部庶務幹事（2016～2017）。

和田 英彦（横河電機株式会社）

1986年早稲田大学理工学研究科修士課程を修了、同年4月横河北辰電機株式会社（現 横河電機株式会社）に入社。システムソフトウェア、組み込みシステム、制御システムにおけるデータ活用の研究開発に従事。2017年よりイノベーションセンターに所属。計測自動制御学会 組み込み・ハイブリッドシステム調査研究会 委員（2005～2007）、計測自動制御学会 Annual Conference 委員会 委員（企業展示担当）（2018～現在）、IFAC2023 Industrial Group 委員（2020～現在）、情報処理学会 学会誌編集委員（1996～2000）、情報処理学会 オペレーティングシステムとシステムソフトウェア研究会 運営委員（1997～2001）。

Annual Conference 委員会企業展示担当としてACへの企業参加増強に貢献している。

岩村 誠人（福岡大学）

1996年九州大学工学部知能機械工学科飛び、1998年九州大学工学研究科生産機械工学専攻修了、2001年九州大学工学研究科知能機械工学専攻博士課程修了。2001年4月福岡大学工学部講師、2004年福岡大学工学部助教授、2007年4月福岡大学工学部准教授。2008年9月から2009年8月までドイツ・シュトゥットガルト大学客員研究員（在外研究）。2013年10月福岡大学工学部教授、現在に至る。計測自動制御学会、日本機械学会、日本ロボット学会、日本計算工学会、システム制御情報学会の会員。マルチボディダイナミクス、ロボティクス、最適制御などの研究に従事。計測自動制御学会九州支部研究奨励賞（2007）、アジアマルチボディダイナミクス国際会議論文賞者（2012）、日本機械学会教育賞（2013）、日本機械学会機械力学計測制御部門一般表彰オーディエンス表彰（2014）など国内外の賞を受賞。

計測自動制御学会九州支部事業幹事、計測自動制御学会九州支部庶務幹事。日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門第7技術委員会副委員長、第88期運営委員などを歴任。

監事

望山 洋（筑波大学）

1995年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。1998年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。防衛大学校助手・講師、名古屋工業大学トヨタ自動車寄附講座助教授を経て、2007年より筑波大学大学院システム情報系准教授。2019年教授、現在に至る。2010～2011年内閣府本府政策調査員（政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）付）併任。博士（情報科学）。ソフトロボティクスの研究に従事。

本会財務担当理事（2020～2021）、会誌編集委員（2006～07、16～17）、論文集委員（2002～03、2009～10）。SICE2011、SICE2016財務委員長。IFAC2023 Finance Chair。ICRA2009、IROS2013、Ro-Man2015、IROS2022、ICRA2024 Finance Chair。2015年よりAdvanced Robotics シニアエディタ。2016-17日本ロボット学会理事（欧文誌担当）。2018～20年IEEE/RSJ IROS CPRB Editor。